

2025年11月17日付をもちまして、名古屋眼鏡株式会社は新たな体制となりました。前代表取締役社長の小林 成年が取締役会長に就任し、新たに白濱 亮が代表取締役社長に就任いたしました。

これまで皆様に支えられ、大切に育んできた想いをしっかりと受け継ぎつつ、新体制のもと、社員一同さらなる発展を目指して精進してまいります。今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

新社長・白濱 亮 就任インタビュー

創業家のバトンを受け継ぎ、「社員主役」の進化へ

しら はま りょう 代表取締役社長 白濱 亮



(略歴) 愛知県名古屋市出身。

名城大学卒業後、2003年に名古屋眼鏡株式会社新卒入社。コールセンターを皮切りに、異業種（ドラッグストア・雑貨業界）への営業、商品開発、採用業務など現場から経営管理まで幅広く経験。常務取締役を経て、2025年11月に代表取締役社長に就任。



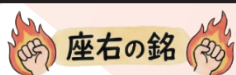
白濱社長に聞いてみた！

インタビューby 編集長

Q1.ご自身の経歴を活かして、どんなことをこれからしていきたいですか？

A. 私自身、入社以来ずっとお客様のお声を聴ける現場に軸足を置いて仕事をしてきました。今の立場になり、社員の日報などでお客様のお声を日々目にします。そのお声から現場をイメージすることができ、気づききっかけとなることがあります。これも現場を経験しているからこそだと感じています。

現場で起きていることをいち早く経営判断に反映し、組織や仕組みとしてお客様のお困りごとに応え続けられる会社に進化させていくことが、私の役割だと考えています。

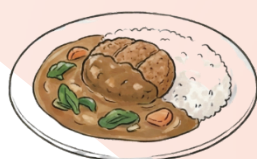


座右の銘

元気があれば
何でもできる
(アントニオ猪木)

好きな食べ物

CoCo壺 (合計1,000回!)
ほうれんそうハンバーグトッピング



仕事での愛用品



パステリックナイロンの
バッグ。丈夫で長持ち！

名古屋のイチオシ



「宮鍵」さんの
鶏みそすき焼き

2026年の目標



社員一人ひとりが
強みを発揮できる
組織づくり

趣味



ゴルフ 筋トレ、
子ども達とゲーム

Q2. 創業家からのバトンを受け継ぎ、「社員主役の進化」を掲げられました。新体制へと移行する中で、この言葉を軸にどのような変革を目指されますか？

A. 「社員主役の進化」とは、社員一人ひとりが考え、動き、成長していくことであり、その環境を整え実現していくことで、結果としてお客様への価値向上につながる。そう信じています。

具体的には、これまで以上に、「お客様の業態や課題に寄り添った提案」「スピード感のある対応」「部門を越えた連携による新しいアイデア」を強化し、提供できると考えております。

名古屋眼鏡は「商品だけ売る会社」ではなく、「お客様の商売と一緒に作るパートナー」であり続けたい。その姿勢を、より明確に、より実感していただける体制にしていきたいです。



Q4. 最後にお客様へのメッセージ（愛）をお願いします！

A. 日頃より名古屋眼鏡をご支援いただき、本当にありがとうございます。私たちはこれまで、多くのお客様に育てていただきました。

体制は変わりますが、「お客様の立場で考え、誠実に向き合う」という姿勢は、これからも決して変わりません。

これまで以上に頼っていただける存在となれるよう、社員一同、挑戦と進化を続けてまいります。今後とも、名古屋眼鏡をどうぞよろしくお願いいたします。

Q3. 座右の銘にアントニオ猪木さんの言葉を挙げられ、生成 AI 活用にも意欲的だと伺いました。「情熱的なマインド」と「冷静なテクノロジー」の両輪をどう社業を通じて体現していきますか？

A. 色々な気づきや影響を与えてくれる言葉に出会ってきましたが一周回ってこの言葉が私には合っているなと感じました。「元気があれば何でもできる」逆に言うと「元気がなければ何にもできない」と思います。その元気とは体と精神面です。組織に置き換えても、組織の人たちの言動やマインドに元気がないと他者に良い影響を与えることはできません。

生成 AI などの現代のテクノロジーに関しても、あくまでそれを活かし価値を作り出していくのは人だと考えています。元気な社員一人ひとりが現代の智を活かしてお客様や業界に影響を与えていく。そんな会社にしていきたいです。

「社員の声」から始まる 委員会活動スタート

未来を創る6つの取り組み

弊社では、継続的な成長とより良いサービス提供のため、6つの専門委員会を設置しています。各委員会がそれぞれのテーマで、未来に向けた具体的な取り組みを推進しています。



時間価値向上・最適化委員会

業務の効率化と生産性向上に取り組み、より質の高いサービスを目指します。



キャリア成長支援委員会

社員一人ひとりの専門スキル向上とキャリア形成をサポートする体制を構築します。



業務バランス改善委員会

お客様窓口の体制を強化し、よりスムーズで質の高い対応を実現します。



賞賛の文化推進委員会

社員が互いを尊重し、高め合えるポジティブな企業文化を醸成しています。



支援職育成計画委員会

次世代のリーダーを育成し、組織全体のマネジメント力を強化しています。



新本社建設プロジェクト委員会

社員の力を最大限に活かす新本社のあり方を考え実現するチームです。

今期（第60期）より、新たな取り組みとして「委員会活動」が本格始動しました。この活動の原点は、年に一度実施する社員アンケートです。寄せられた「声」やアイデアを拾い上げ、組織課題を解決していくことを最大の目的としています。

各委員会は、管理職（支援職）を核とし、部署の垣根を越えて集まった4名前後のメンバーで構成。普段は異なる業務に就くメンバーが交流することで、多角的な視点による課題検討を行います。また、一部の委員会では外部コンサルタントの知見も借りながら議論を交わしています。

私たちが目指すのは、「社員・会社・お客様・社会」の4つの視点すべてにおいて、より良い組織運営を実現することです。現在は手探りの状態ではありますが、今期中に具体的なアクションへと繋げてまいります。